

ここが聞きたい!

いっぱん

布勢小学校の耐震改築は?

石原武志 議員

町長 平成33年か34年に改築したい



問 鳥取でも大地震があり、布勢小学校の父兄からは安心安全がなおざりにされているとの声も多くあるが、どう答えるか。

答 財政状況に配慮しつつできるだけ早期に実施したい。三成小は平成30年か31年に、布勢小は33年か34年に改築したいと考えている。

問 具体的に示された。学校改築に対する意見は多岐に渡る。統一校にしていく方法もあるが、小規模校の評価も近年変わってきて、布勢地区



布勢小学校 校舎

の父兄91%が現状改築を望んでいる。具体的な日程が示されることで安心感はあるが実行と決定したわけでない。雲南地区にも断層が点在するといふ。新入学を控える児童・父兄にとって校舎問題が不安要素の原因で帰郷の妨げとならぬよう一日も早い実行を望む。

問 避難訓練に関して問う。

地震対策のための避難訓練はどのように実施しているか。

答 安部教育長 各学校とも学期ごとに実施。内容は地震・火災・自然災害のみならず不審者侵入を想定した訓練も実施している。

問 いろんな訓練を実施しているが、一度に多くの人命を失いかねない大地震に対する訓練は、時間・場所・地域性等考慮し、具体性を持った訓練が必要だ。

答 各学校の実情に合わせて、実効性のある訓練を行うよう指示する。

問 高値が続く畜産業について、高齢化の問題もあるが将来の展望は。

答 第5区繁殖雌牛群の全共出場が決定し、来年6月の代表の座獲得に向け最大限の支援をする。

繁殖農家は好調な景気に支えられているが、肥育農家は厳しい経営環境を余儀なくされている。

J A、農業振興協議会と

公益連携事業を実施し、基盤の再構築を目指し、増頭対策を行っている。農家数は多少減少しているものの頭数は確保、現状維持ができると思われる。

問 具体的な担い手対策は。

答 丹木農業企画課長 農業法人、集落営農組織等に担い手の確保などの支援を行う。また専門学校卒の若手後継者に、県普及部と連携し支援を進める。

問 畜産業振興のため、民間の使用していない肥育施設や牛舎等の借り上げを行い、経費がな高年齢者等による「牛飼組」の立ち上げなどにより広く畜産振興を図ってはどうか。高齢者の働き場所確保にも対応できると思うが。

答 丹木農業企画課長 指摘の雇用体系や事業立ち上げ等、経費助成も含め、実現化できるように積極的に努力していく。